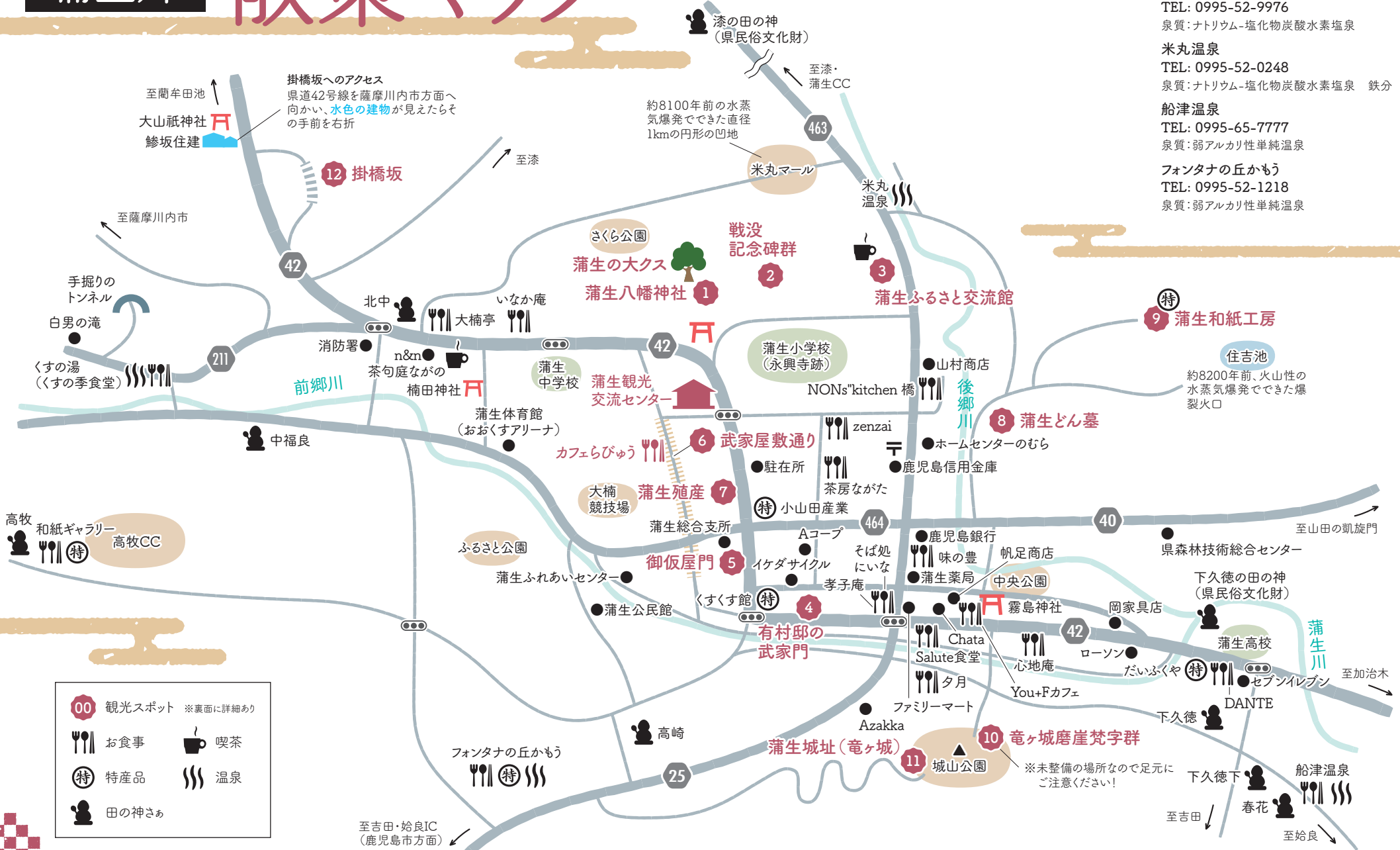


散策マップ

蒲生郷周辺の温泉

- くすの湯
TEL: 0995-52-9976
泉質: ナトリウム-塩化物炭酸水素塩泉
- 米丸温泉
TEL: 0995-52-0248
泉質: ナトリウム-塩化物炭酸水素塩泉 鉄分
- 船津温泉
TEL: 0995-65-7777
泉質: 弱アルカリ性単純温泉
- フォントナの丘かもう
TEL: 0995-52-1218
泉質: 弱アルカリ性単純温泉



- 00 観光スポット ※裏面に詳細あり
- 🍴 お食事
- ☕ 喫茶
- 🏷️ 特産品
- 🌋 温泉
- 👤 田の神さあ



観光スポットのごあんない

※【 】内は、蒲生観光交流センターからの距離と所要時間

1 蒲生八幡神社 【約200m(徒歩3分)】

1123年、蒲生氏初代舜清により宇佐八幡神(大分県)を勧請して建てられた神社。宝物に銅鏡(重要文化財)があります。



蒲生の大クス(国特別天然記念物) 【約200m・徒歩3分】

推定樹齢1500年、根回り33.57m、目通り幹囲み24.22mの巨樹。幹の中には直径4.5m(約8畳分)、高さ16.5mにおよぶ空洞があります。昭和63年環境庁実施の巨樹巨木林調査で日本一の巨樹と認定されました。

注:幹の中には入れません。

2 戦役記念碑群 【約300m・徒歩4分】

戊辰戦争、西南戦争、日清・日露戦争、太平洋戦争の英霊を讃える記念碑です。

3 蒲生ふるさと交流館 【約300m・徒歩4分】

蒲生出身の彫刻家・板橋一步氏の作品を展示しているほか、幅広い交流活動の拠点にもなっています。

4 有村邸の武家門 【約400m・徒歩5分】

1816年に建造された、100石以上の形式の門。現存する蒲生の武家門では最古のものです。

5 御仮屋門(県有形文化財) 【約150m・徒歩2分】

江戸時代の蒲生地頭仮屋の正門で、1826年に再建。蒲生に現存する武家門としては二番目に古く、藩主島津斉彬も蒲生を巡視の折にこの門をくぐっています。樹齢約400年とされる市天然記念物の御仮屋イヌマキ(一ツ葉)は、かつて御仮屋門の表庭に植えられていました。

6 武家屋敷通り 【約200m・徒歩3分】

武家門と石垣が多く残る通り。旧蒲生町がまち並み保存条例を制定した当時、モデルとして建て直した武家門も見られます。NHK大河ドラマの撮影も行われました。

民家の敷地内には入れません。「カフェらびゅう」はこの通りにあります。

7 蒲生殖産 【約80m・徒歩1分】

江戸末期から林業による殖産を行い、教育や町作りなどに多大な貢献をした蒲生士族共有社の門が今も残っています。蒲生士族共有社は戦後改組され、現在の蒲生殖産興業株式会社となりました。

8 蒲生どん墓 【約1.2km・徒歩20分】

蒲生どん墓は鎌倉末期～室町中期の蒲生氏歴代当主とその一族の墓で、総数31基の五輪塔です。最大のもは8代宗清(1332年没)のもので、高さが202cmあります。

9 蒲生和紙工房 【約1.4km・徒歩25分】

水がきれいでも豊かだったため、江戸時代に盛んだった蒲生和紙。蒲生和紙工房は、その伝統を受け継ぐ唯一の工房です。

10 竜ヶ城磨崖梵字群 【約1.8km・車4分+徒歩4分】

1700字におよぶ梵字が120mにわたって刻まれています。梵字の数としては日本一ともいわれています。

注:未整備のため足場がよくありません。長靴、軍手を準備して行くことをお勧めしています。

11 蒲生城址(竜ヶ城) 【約4km・車10分】

鎌倉時代～室町時代にかけて、この地を約430年間治めた蒲生氏の居城。18代範清の時代(1557年)に、島津貴久の手によって落城しました。

12 掛橋坂 【約3.2km・車8分】

中世の頃は道幅が狭く危険な板敷の道(棧)であったと考えられており、それが地名の由来となりました。1796年までには石段や切石を敷き詰めた石畳が完成し、年貢米の輸送等にも利用されました。

ノミ穴や、棧の行桁の跡が残る石も見られます。



田の神さあ

江戸時代の薩摩藩領内で行われた、水田のほとりにみられる石像。手にメシゲ(しゃもじ)、お椀、すりこぎなどを持つ田仕事姿の立像が一般的な形で、起源には男根崇拜説もあげられます。始良市内にもさまざまな田の神石像が多く現存しています。

車では探しづらい場所にあるので、自転車でもわるのがオススメ! 町内にレンタサイクルもあります。